1. 日頃の準備

日頃から、どのような備えが必要か考えておきましょう!

- 1) 避難場所の確認(学院・自宅の周辺)
- 2) 家族との連絡方法や待ち合わせ場所の確認
- 3) 災害伝言サービスの確認と登録
- 4) 帰宅ルートや所要時間の確認
- 5) 緊急時のメモの作成・記入
- 6) 具体的な情報収集の手段及び緊急避難場所等の確認
- 7) 転倒防止対策や緊急時アイテムの確認
- 8) 学校及び友人等への連絡方法の確認及び連絡、リスト整備

【日頃からの準備物】

□チョコレート・あめ類

□学生証•運転免許証

□現金(小銭も) 口健康保険証

口が収帳

□9机•絆創膏

□兩員

□手回し懐中雷灯・ラジオ 口ごみ袋

□非常用保温別パシート

口油性マジック

2. 災害時の心構え

<基本方針と心構え>

- 1) 災害が発生した場合、学生の避難を最優先して学生の安 全確保に万全を期します
- 2) 学内にいる場合は、教職員の指示に従って落ち着いて行 動する
- 3) 実習中の場合は、実習場責任者の指示に従い行動する
- 4) 学外にいる場合は、安全な場所に避難をして待機をする

<自宅待機が必要な場合>

- ●以下の場合は、「自宅で待機」し、学院からの連絡を待ち ましょう
- ⇒ 震度5以上 ◇地震
- ◇警報発令 ⇒ 暴風 大雨·洪水 大雪
- ◇ J アラート発信時(弾道ミサイル)
 - ⇒登校前のときは自宅待機

登校後は1F講堂に集合(暗幕下ろす)

*避難行動をとりましょう!

3. 事件等への対策

●被害に遭わないために

- 1)暗くて人通りの少ない場所は避ける
- 2) 危険と感じたら、逃げる、大声を出す
- 3) 不審者には関わらないようにする
- 4) 夜間は一人で歩かない
- 5) 携帯電話・スマホでの通話・音楽を聴きながら歩かない
- 6) 防犯ブザーを持ち歩く
- 7) 帰宅したら、すぐに玄関の施錠をする
- 8) 訪問者があったときは、確認後ドアを開ける
- 9) 不審物を発見しても、「触れない」「嗅がない」「動かさない」 を徹底する
- 10) 不審者を発見したら近寄らず、通報する

被害に遭ったら、すぐ「110番」

4. 災害が発生したら

●正確な情報を収集する!

- 1) 倒れやすいもの、壊れやすいものから離れ落下物に注意
- 2) むやみに動かず安全を確認
- 3) 非常口やドア等を開けて避難口を確保
- 4) 避難は徒歩で、荷物は最小限にする
- 5) 煙・埃を吸わないようハンカチで口を覆う
- 6) エレベーターを使用せず階段で避難する
- 7) 正確な情報の収集に努め、なるべく集団で行動する
- 8) 負傷者の救護や初期消火に協力する
- 9) 学院との安否確認及び学院への安否連絡をする

5. 安否確認

●地震など災害発生後、学院に安否を連絡する!

- 1) 学院にいるときに地震が発生し避難場所に集結した時
- ①教員に安否を連絡する
- ②建物に取り残されている人がいる場合は、直ちに教職員 に連絡する
- 2) 登下校中の場合
- ①基本的には自宅に戻る
- ②学院が目前のときは学院に来る
- ③できるだけ早く学院に安否の報告をする
- 3) 自宅にいる時
- ①周囲が落ち着いてから学院に安否の報告をする
- ②学院に報告時は、以下のことを報告

「学年/氏名/本人・家族の状況/自宅・実家状況/その他」

4) 実習中の場合は、実習場の責任者の指示に従う

6. 学院・家族・友人間の連絡

□学院への連絡

TFI 0248-23-4081

E-mail:kouseigk@hyper.ocn.ne.ip

口学院からの連絡

*マチコミメールで連絡します。

口災害用伝言ダイヤル

